

# 第2次芦屋町環境基本計画（構成案）

## 第1章 計画の改定にあたって

1. 計画改定の目的
  - ・計画期間の終了、社会動向や環境問題の変化への対応
2. 計画の性格と役割
  - ・第6次芦屋町総合振興計画の部門計画
  - ・**地域気候変動適応計画の位置付け**
  - ・**地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は別途**
3. 計画の対象
  - ・対象とする環境の要素
4. 計画の期間
  - ・2024年度～2033年度
  - ・中間年度で見直し

## 第2章 芦屋町の概要

1. 地勢
  - ・地勢的特徴と沿革
2. 気象
  - ・月別平均気温と降水量（平年値）、気温上昇と将来予測
3. 動植物の分布状況や土地利用の状況
  - ・動植物の分布状況、植生図、土地利用状況
4. 人口
  - ・人口・世帯数の推移、高齢化率の推移
5. 産業
  - ・産業大分類別就業者数、産業別の特徴
6. 上水道
  - ・給水人口と水道普及率
7. 下水道
  - ・処理人口と下水道普及率
8. 廃棄物処理
  - ・ごみ排出量の推移
9. 温室効果ガス排出量
  - ・排出構造、県との比較

## 第3章 計画改定の背景

1. 環境をめぐる社会の動向
  - SDGs、2050年カーボンニュートラル、循環経済への転換、新生物多様性枠組、地域循環共生圏、デジタル技術の発達、ワンヘルス
2. **第1次計画の実績と評価**
  - (1) **施策の実施状況と数値目標の達成状況**
    - ・施策の実施状況
    - ・数値目標の達成状況
  - (2) **第1次計画に対する住民の評価**
    - ・身近な環境の満足度と重要度
    - ・環境施策の満足度と重要度

## 第4章 環境づくりの基本方針

1. 良好な環境の保全に向けて
  - ・社会動向や環境問題の変化に合わせた見直し
2. 目指す環境像 **※変更の必要がなければ現在の環境像を継続** まち  
「未来へと みんなでまもり みんなでつなぐ 美しい芦屋の郷里」  

＜環境像に込める想い＞	
未来へと…	： 将来を担う、子どもや孫たちを想い、
みんなでまもり みんなでつなぐ…	： 住民・事業者・町が、一つになり、途切れることなく、町の環境を守り育て続け、
美しい芦屋の郷里…	： 芦屋町が、美しく誇れる町、住みたくなる町、そして、帰りたくなる郷里となる
3. 環境目標（案）
  - ①【自然環境】（目標案）豊かな自然環境を次世代へと継承します
  - ②【生活環境】（目標案）安全・安心でな生活環境の確保と循環型社会づくりを進めます
  - ③【快適環境】（目標案）快適な地域環境を創出します
  - ④【地球環境】（目標案）**気候変動に適応したカーボンニュートラルなまちづくりを進めます**
  - ⑤【環境教育・意識】（目標案）環境意識を高め、協働による環境づくりを進めます
4. 各主体の行動指針
  - ・必要に応じて見直し

## 第5章 施策の展開 ・SDGsのゴールとの関係性を整理

- |                |   |
|----------------|---|
| 1<br>【自然環境】    | ・国の「生物多様性国家戦略2023-2030」を踏まえ、取組を強化<br>・自然の持つ生態系サービスの多面的機能の発揮 |
| 2<br>【生活環境】    | ・現行計画に位置付ける施策の継続・見直し<br>・ <b>食品ロス、プラスチック問題への対応</b>          |
| 3<br>【快適環境】    | ・現行計画に位置付ける施策の継続・見直し  |
| 4<br>【地球循環】    | ・温室効果ガス排出量削減目標の引き上げ、再エネ導入施策の強化<br>・ <b>気候変動影響への適応策の追加</b>   |
| 5<br>【環境教育・意識】 | ・現行計画に位置付ける施策の継続・見直し  |

## 第6章 計画の推進

1. 計画の推進体制
  - ・環境審議会、環境美化推進委員会、住民・事業者との協働、広域的な連携
2. 計画の進行管理
  - ・進行管理の方法、計画の周知

※青文字：検討・更新対象とする事項  
※赤文字：現行計画から変更する事項